



広島修道大学
ひろしま未来協創センター
ピア・カウンター
活動報告書 2023年度



広島修道大学

ピア・カウンター活動報告書2023年度 目次

ごあいさつ.....	1
ひろしま未来協創センター センター長 川瀬 正樹	
ピア・カウンター事業概要.....	2
ピア・カウンター利用統計.....	3
1. 登録者数	
2. ボランピア活動受付件数・ボランピア活動参加学生数	
学生が参加したボランピア活動(一覧).....	4
ピア・カウンター主催事業.....	7
1. 災害ボランティアリーダー養成講習会	
2. 災害ボランティアリーダーネットワーク	
3. 修大災ボラネットワーク登録者向け研修会	
4. ボランティア講習会、地域活動講習会	
学生インタビュー.....	10
学内ピア活動.....	11
1. 中学生キャンパス見学会(中学生キャンパスガイド)	
2. 学内総合案内所(新入生サポートガイド)	
Photo Gallery 2023.....	12
資料集.....	13
ボランティア情報提供者用資料	
1. 学外ボランティア活動に関するガイドラインについて	
2. 学外ボランティア活動の受付および募集について	

ごあいさつ

このたびは、令和6年能登半島地震で被災されたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く復旧・復興されますよう、お祈り申し上げます。

平素より、広島修道大学ピア・カウンターの活動に対して格別のご高配、ご協力を賜り、みなさまに厚く御礼申し上げます。ひろしま未来協創センター内に窓口を有するピア・カウンターは、本学に設置され15年を迎えました。当初は主に学内で活動をしていましたが、地域や学外団体からボランティア学生の派遣依頼をいただくようになり、参加希望学生への案内とマッチングにより、学生と地域との橋渡し役を担うようになりました。そのほか、学部・学年横断的なつながりを意識した学内ピア活動や、地域貢献活動への参加に一步を踏み出すための講習会等を行っています。また、災害発生時にリーダーとして率先して行動できる学生を養成するための「災害ボランティアリーダー養成講習会」を2021年度より実施しており、さらに学内の災害ボランティアネットワーク「修大災ボラネットワーク」を発足させました。また、2023年度には新たにネットワーク登録者向けに実践的なトレーニング研修を実施することで、被災地での活動時に学生リーダーとして行動できる人材の育成を図っています。これにより、災害復旧・復興のためのボランティア活動に参加する要件が整い、休日及び長期休暇において被災地での支援活動ができることとなり、能登半島での被災地支援も行われるのではないかと思います。

世界中に甚大な被害をもたらした新型コロナウイルスが少しずつ終息に向かい、2023年5月より新型コロナウイルスが第5類感染症へ移行されました。ピア・カウンターではこれを受け、2020年度に導入した「新型コロナウイルス感染症対策に関する留意事項」を撤廃し、学生の課外活動についてコロナ禍以前の通常対応へと戻しました。約3年間で様々な制約を受けた学生たちは明るい表情を浮かべ、大学に以前のような活気が戻りつつあります。地域や学外団体のみなさまからは昨年度を上回る学生派遣依頼をいただき、学生が社会で成長する機会をご提供いただきました。2023年度現在、ピア・カードへの登録学生数は516名に達しており、彼らが本学の地域貢献活動を支えてくれています。

今後も地域社会の発展に貢献できる人材の育成、およびそれによる大学の地域貢献を目指して参ります。末筆ではございますが、この場をお借りして、みなさまからのご支援に御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

広島修道大学 ひろしま未来協創センター
センター長 川瀬 正樹

ピア・カウンター事業概要

ひろしま未来協創センター^{*1}に所属する「ピア・カウンター」では、学生のボランティア活動支援業務を行っています。ボランティア活動をはじめとする様々な自主活動を通して、学生の「社会で”生き抜く”ための基礎力」を養うことを目的としています。社会で生きていくということは、人と出会い・人を知り・人と絆を結ぶことであり、そのために必要な力が「社会で”生き抜く”ための基礎力」です。この基礎力を「わかりあう力・伝え合う力・想像する力・前進する力・継続する力」と定義し、これらの力が養われるような以下の支援を行っています。

1. ボランティア活動に関すること

ピア・カウンターに届く様々なボランティア活動を取りまとめ、精査し、学生への情報提供を行っています。本学主催のボランティア事業および学外の様々な団体が主催しているボランティア事業のうち「学外ピア活動に関するガイドライン」を満たした活動を『ボランピア活動』として学生へ紹介し、主催団体と学生を繋ぐ役割を担っています。また、学生への助言（ボランティア活動に関すること）や活動に必要な支援を行っています。

2. 学内ピア活動に関すること

教職員のサポートスタッフとして、ひろしま未来協創センターが企画・運営する学内での活動（中学生キャンパス見学会、学内総合案内所など）に学生が参加するための窓口業務及び指導業務を行っています。

3. ボランティア活動の促進に関すること

「ボランティア活動を始めるきっかけづくりと、活動への参画」を目的とした『ボランティア講習会』『地域活動講習会』を開催するなど、学生の活動参加への後押しを行っています。

4. 様々な地域活動の支援

ピア・カウンターでは、様々な学生の地域活動の支援をしています。地域や外部団体からの要望や、学生からの「挑戦したい」という想いをカタチにしていくために、様々な形でサポートしています。

連携協定
締結先

2017年12月6日締結 公益財団法人日本財団ボランティアセンター

本協定は、学生ボランティア活動推進に関して、相互に協力・連携を行い、学生ボランティア活動の発展に寄与することを目的としています。



* 1 ひろしま未来協創センター … 広島修道大学の研究・生涯学習・社会貢献・ボランティア活動に関する諸活動を支援するための部局です。これらのうち、研究を通じた社会貢献については、1976年にひろしま未来協創センターの前身となる商業経済研究所が発足して以来、推進してきましたが、2010年より「地域つながるプロジェクト」を実施し、教育を通じた社会貢献にも取り組んできました。2012年度に、ピア・カウンターも当センターに移管され、学生の自主活動を支援しています。

ピア・カウンター利用統計（2024年2月末現在）

1 登録者数

	学部別内訳								学年別内訳	
	商	人文	法	経済科	人間環境	健康科	国際	正規生以外	学年別合計	(学年別割合)
1年生	13	12	11	2	1	14	9	0	62	12.0%
2年生	17	48	14	11	4	8	23	0	125	24.2%
3年生	16	43	49	13	8	23	26	0	178	34.5%
4年生	27	33	41	10	10	15	11	0	147	28.5%
院生	0	2	0	2	0	0	0	0	4	0.8%
計	73	138	115	38	23	60	69	0	516	100.0%
(学部別割合)	14.1%	26.7%	22.3%	7.4%	4.5%	11.6%	13.4%	0.0%	100.0%	

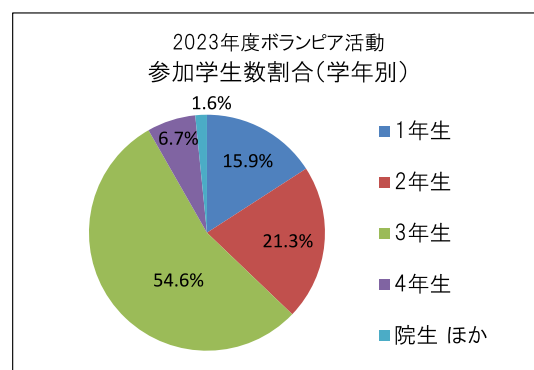
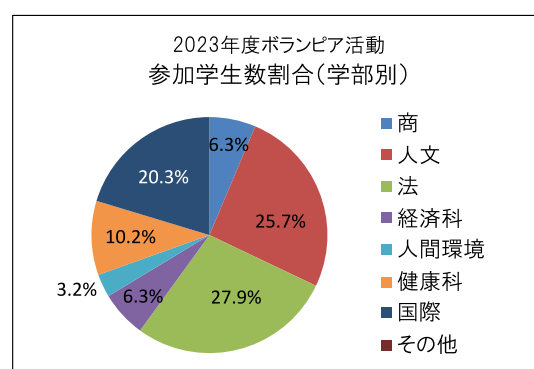
2023年度
新規登録者数
総計

203

ピア・カウンターでは、ボランティア活動に関する情報発信や活動への参加申請のために、学生に「ピア・カード（ピア・カウンター専用の登録様式）」に登録してもらいます。2023年度の新規登録者数は203名となり、総登録者数は516名となりました。

2 ボランピア活動受付件数・ボランピア活動参加学生数

分野		受付件数 (件)	うち、学生参加 件数(件)	受付に対する 参加割合(%)	参加学生 数(人)
福祉	福祉・子ども	9	4	44.4%	46
	福祉・高齢者	1	1	100.0%	5
	福祉・その他	0	0	—	—
スポーツ	スポーツ・福祉	0	0	—	—
	スポーツ・その他	4	2	50.0%	11
教育		6	3	50.0%	10
子ども		25	15	60.0%	60
イベント		12	8	66.7%	52
国際関係		3	3	100.0%	46
災害支援		1	1	100.0%	7
環境		1	0	0.0%	0
防犯		1	1	100.0%	31
平和		3	3	100.0%	35
まちづくり		1	1	100.0%	12
計		67	42	62.7%	315
学内ピア活動		11	11	100.0%	58



2022年度末で本学の新型コロナウイルス感染症に関する活動指針およびガイドラインが終了したことにより、ピア・カウンターでは、2023年度より学外ボランティア活動の受入をコロナ禍以前の通常対応へと戻しました。学外からのボランティア派遣要請は着実に増加し、学生の地域活動の場が広がりました。

2023年度の活動受付件数は67件、うち学生が参加した活動は42件となり、延べ315名の学生が活動しました。2022年度と比較すると、これまで活動を制限されていた学生の積極的な動きが感じられました。

社会人として巣立つ直前期である学生にとって、ボランティア活動は地域や社会と交流をもつことができる貴重な経験の場として捉えられており、参加を希望する声も多く寄せられます。活動を通じて自己啓発や自らの成長に繋がりたいと主体的に行動する学生が増加していると考えられます。

● 学生が参加したボランティア活動（一覧）

受付順	活動年月日	分野	活動名	依頼者	活動内容	参加人数
1	通年	防犯	広島県学生防犯ボランティア「スリーアローズ」メンバー	・ 広島県警察本部生活安全総務課地域安全係	・ 子供見守り活動、防犯パトロール ・ 防犯寸劇、防犯教室 ・ 広報啓発イベントへの参加、防犯動画・ポスター作成 ・ 他県学生防犯ボランティア団体との研修会 ・ 全国地域安全運動、年末特別警戒等の各種防犯イベントへの参加	31
2	通年	子ども	第21回人間力育成塾	・ NPOおのみち寺子屋	・ おのみち100km徒歩の旅(本番)での小学生の歩行体験のサポート ・ ハイブリッド寺子屋おのみちでの小・中学生への学習支援	4
3	通年	子ども	青少年支援メンター制度	・ 広島市こども局未来こども・家庭支援課	・ 交流相手の子どもたちと一緒に遊ぶ、おでかけする等、メンター・子ども・保護者の三者が合意する活動を行う ・ 年数回の研修会への参加	5
4	通年	災害支援	広島市消防団サポーター	・ 広島市消防局	・ 大規模災害発生時に消防団員の活動の後方支援 ・ 平常時には防災訓練や水防訓練への参加の他、これらの活動に必要な研修を受講	7
5	2023/2～5	国際関係	G7広島サミットに係る学生ボランティア	・ 広島サミット県民会議事務局	・ 県民向けイベント対応・サミット関係者に対するおもてなし(観光案内・移動支援・広島県の情報発信など) ・ 関係各国の先遣隊歓迎イベントなどでの通訳、会話補助	14
6	2023/7/22(土)・23(日)	イベント	バームクーヘンカップ2023トライアスロン体験会in似島	・ 似島活性化スポーツ事業実行委員会	・ 会場設営 ・ 受付・選手の誘導 ・ バイク担当、ラン担当、本部担当に分かれ、子どもの面倒をみる ・ 写真を撮る ・ 飲物を来賓やスタッフに渡す ・ 保護者や一般の人に飲食販売 ・ 片付け	6
7	2023/4/23(日)	イベント	THEまなび博～世界の子ども支援	・ THE OUTLETS HIROSHIMA	・ 会場の準備と片付け ・ ユニセフすごろくや釣りゲームへの参加や支援物資見学の呼びかけ ・ ユニセフすごろくや釣りゲームをする子どもの手伝い	5
8	通年	子ども	子ども・家族向け自然体験教室支援	・ Holidays Fun(うみやまようちえん)	・ 参加する家族、子どもたちと一緒に遊ぶ ・ 一緒に手をつないで歩く、全力で一緒に砂遊びをしたり遊びをサポート ・ 着替えの手伝いやトイレの付き添い	3
9	2023/5/9(火)～22(月)	国際関係	インバウンド向けの「日本の文化体験」のお手伝い	・ 特定非営利活動法人 セルクル	・ インバウンドに対して折り紙、けん玉、だるま落としなどの遊び方のレクチャー ・ その他ボランティアに関連する会場整備、雑務など	15
10	通年	スポーツ	広島市スポーツイベントボランティア	・ 公益財団法人広島市スポーツ協会	・ スポーツイベント会場内の美化活動 ・ 入場口でのチケット確認 ・ 場内案内など	11
11	2023/5/13(土)・27(土)・6/10(土)・11(日)	子ども	こどもがつくるまち・もり・うみ @大野みんなのまつり	・ 株式会社勝谷 ・ 廿日市市役所	・ 子ども運営メンバーの計画のサポート ・ 会場の設営、準備、整理、片付け ・ ブースの担当補助	2
12	2023/6/4(日)	福祉	令和5年度広島県西部地区知的障害関係施設親善球技大会におけるボランティア	・ 広島県知的障害者福祉協会	・ 知的障害のある方々のスポーツ大会における運営のお手伝いや簡単な審判、参加者の方々の介助等	22
13	2023/6/4(日)	教育	ふれあいハイキング2023	・ 広島思春期問題研究会	・ 子どもと一緒にレクリエーションや軽スポーツなどを行う ・ レクリエーションの運営補助	2
14	2023/9/16(土)	子ども	わんぱくスポーツフェア2023	・ 公益財団法人広島県教育事業団	・ スポーツ教室コーナー等、主として小学生の運動補助的業務	16

受付順	活動年月日	分野	活動名	依頼者	活動内容	参加人数
15	通年	子ども	NPO法人チャリティーサンタ広島支部のボランティア運営スタッフ	・NPO法人チャリティーサンタ広島支部	・パースデーカードの作成、パースデー絵本の選定 ・クリスマスイブの準備(当日サンタ募集、訪問家庭募集、サンタ講習会、サンタ衣装の準備、プレゼント絵本とお菓子の振り分け)	5
16	通年	子ども	大学生ボランティアチームワクワク学び隊	・広島県立生涯学習センター	・県内の各市町が実施する放課後子供教室等の地域学校協働活動を企画・実施 ・実験、観察、工作、絵画、音楽、ダンス、演劇、レクリエーション、スポーツ、英会話、読み聞かせ、学習支援、児童・生徒が参画するイベントの支援	4
17	通年	子ども	いきいき広場	・広島市西地域交流センター	・小・中・高校生等を対象とした「いきいきひろば」の運動補助(コミュニケーションや学習支援) ・当館主催事業の企画・運営など	3
18	2023/9/2(土)	福祉	第27回もみじ作業所まつり	・もみじ福祉会もみじ作業所	・まつりの会場準備(テント設営・駐車場設備)、出店の野菜切り、POP作り ・仲間(利用者)付き、出店手伝い、駐車場係、美化係、お茶係、警備係等	15
19	2023/9/11(月)~19(火)	国際関係	第9回WBSC女子野球ワールドカップ グルーブラウンドB in 三次通訳ボランティア	・三次市地域振興部地域振興課	・大会におけるチーム関係者等との通訳(審判長・TC長・スコアラー長・連盟会長・WBSC・三次きんさいスタジアム・チーム・チームホテル・スタッフホテル)	17
20	2023/8/6(日)	平和	とうろう流し	・とうろう流し実行委員会	・受付(販売と預かり) ・親水護岸にて手流しの方への説明と補助 ・親水護岸や流水護岸や流灯船からの流灯 ・その他運営に必要な業務	33
21	2023/8/25(金)	子ども	平和台町内会 子ども祭り	・平和台町内会	・子供たちと一緒に工作をする	6
22	通年	教育	BBS活動の学生ボランティア	・特定非営利活動法人日本BBS連盟 ・法務省広島保護観察所 ・広島地区BBS会	・児童自立支援施設及び児童養護施設における学習支援及びレクリエーションの実施 ・東広島市の児童自立支援施設及び児童養護施設での学習支援 ・夏と冬に1回ずつのレクリエーションの開催 ・えがお食堂での活動として毎月1回、子どもたちのあたたかい居場所づくりの運営のために、料理提供やえがお企画の実施 ・その他児童相談所等におけるレクリエーションなども年に数回実施	4
23	2023/8/3(木)	イベント	第6回西区トップアスリートとわくわくうんどうかい	・広島市西区役所	・受付準備・受付対応・児童の整列・スポーツコーナー(5か所)の運営等・追っかけ玉入れの補助・片付け	6
24	2023/7/24(月)~8/10(木)・8/17(木)~28(月)	子ども	夏期休暇預かり保育	・学校法人至徳学園 井ロルンビニ幼稚園	・【保育補助】水遊び・外遊び・保育室の準備の手伝い・身の回りのお世話の補助・午睡の寝かしつけなどを保育者と一緒にやる	1
25	2023/11/18(土)・19(日)	まちづくり	まちづくり市民交流フェスタ2023	・まちづくり市民交流フェスタ実行委員会 ・まちづくり市民交流プラザ	・来場者対応・各会場の受付補助 ・プログラム配布や会場案内など	12
26	通年	子ども	こども食堂	・フジタスクエアまるくる大野	・子ども食堂の運営及び管理(実際の食事の提供と学習支援や遊びの体験等) ・来館対応・プログラム配布・食事の提供・各コーナーの補助・会場整理・利用者さんの対応	5
27	2023/10/9(月)	子ども	第1回まるくるスポーツフェスタ	・フジタスクエアまるくる大野	・体力測定・スポーツ支援・スポーツ大会の支援・講演の運営・来館対応・プログラム配布・食事の提供・各コーナーの補助・会場整理・利用者さんの対応	1

受付順	活動年月日	分野	活動名	依頼者	活動内容	参加人数
28	2023/8/27(日)	イベント	あそびはカラダづくりまつり ドッジボールコーナー	・公益財団法人広島県教育事業団	・参加児童への遊びの指導 ・会場整理、利用者さんの対応 ・各コーナーの補助	7
29	2023/8/27(日)	イベント	あそびはカラダづくりまつり	・公益財団法人広島県教育事業団	・主として幼児の運動補助的業務、 イベント運営業務(受付等)	4
30	①事前研修会後～ 2023/10/27(金) ②2023/11/11(土)	福祉	第4回認知症とその家族にやさしい まちづくり	・広島市戸山・伴・大塚地域包括支 援センター	・テーマに沿った書籍(リストあり)を 読みPOP作成 ・読んだ本の紹介と感想、ボランティ アに参加したきっかけや想いを発表	1
31	2023/9/3(日)	イベント	たられば防祭	・たられば防祭実行委員会 ・アルパーク ・LECT	・各ブースの運営補助	16
32	2023/10/21(土)・ 22(日)	イベント	第22回南区ボランティアフェスティ バル	・南区ボランティア連絡会	・机や椅子の配置、会場設営、備品の 移動 ・アイマスク体験補助、駐車場警備、 各階誘導係、受付対応、会場の片付 け	6
33	2023/10/9(月・祝)	スポーツ	「スポーツの日」記念スポーツ行事	・公益財団法人広島県立総合体育館	・キッズプレイコーナー、体力測定、 みんなでエコしよう、ニュースポー ツコーナー等、子どもたちの遊びや 体験コーナーの運動・運営補助	1
34	2023/12/3(日)	福祉	広島市心身障害者福祉センター 2023文化祭	・広島市心身障害者福祉センター 2023文化祭実行委員会 ・広島市 ・広島市社会福祉事業団	・受付、会場案内、館内誘導、手話通 訳、ステージの補助、駐車場誘導、 作品展示会場の案内、ものづくりコ ーナー、誘導(体育館前、各階エレ ベーター前)、休憩コーナー、クイ ズラリー、景品交換所、会場片付け	8
35	2024/1～2025/3	子ども	第22回人間力育成塾	・NPOおのみち寺子屋	・小学生が100km完歩に挑戦する中で 【生きる力】を育むサポートを行う ・尾道市内の小・中学生への学習支援 を行い、教えて初めて教わったこと が身に付くということを体現し、 Win-Winの関係づくりを行う ・コミュニケーション能力やプレゼン テーション能力の開発、またビジネ スマナーなど社会で生きるスキル獲 得のための研修受講	1
36	2023/11/11(土)・ 12(日)	イベント	安芸区ボランティアまつり	・安芸区ボランティアグループ 連絡会	・受付(パンフレットの配布、スタンプ ラリーの景品引き換えなど) ・スタンプラリーのスタンプ係 ・ボランティアの木(福祉体験の感想を 書く)補助 ・車いす体験の補助 ・キッズコーナーのゲーム運営	1
37	2023/12/25(月)	子ども	冬休みケーキデコレーション教室	・串戸市民センター	・職員と各グループに分かれて補助	2
38	2024/1/23(火)	高齢者	スマホを快適に！スマホ講座	・串戸市民センター	・講座受講者の高齢者の方へのマンツ ーマン形式的な補助・サポート	5
39	2024/3/24(日)～ 31(日)	平和	第2回被服支廠オープンウィーク 自由見学会ボランティアガイド	・わが町活性化委員会	・来場者ガイド・受付・テント張りな どの会場設営準備	1
40	2023/12/16(土)	平和	第45回(2023年)ハンド・イン・ ハンド募金	・広島県ユニセフ協会	・ポスターや募金箱などをもち、呼び かけ文を読みながら通行する方々へ 募金を呼びかける	1
41	2024/2/10(土)・ 25(日)・3/2(土)・ 3(日)	子ども	広島市青少年センター主催事業 次世代のための食育プロジェク ト	・広島市青少年センター	・味噌づくりについてプロから学んだ のち、4回目の講座内で味噌の作り 方や魅力などを子どもたちにレクチャ ーするための企画・運営	2
42	2024/3/3(日)	教育	ふれあいの集い2024	・広島思春期問題研究会	・子どもと一緒にレクリエーションや 軽スポーツなど行う ・レクリエーションの運営補助 ・物の準備	4
合計						315

ピア・カウンター主催事業

1 | 災害ボランティアリーダー養成講習会

学生の災害や防災についての知識習得と復旧・復興支援ボランティア活動への関心の向上を目的とし、災害ボランティアリーダー養成講習会を2日間に渡り開催しました。2023年度は外部団体から2名の講師をお呼びし、グループワークを含めた全2回の講習会が行われ、延べ58名の学生が参加しました。被災地の第一線で活動してきた講師の方の話を聞くことで、災害支援についての理解を深め、ボランティアリーダーとしての心構えなどを学びました。また、より多くの学生が本講習会を受講できる機会となるよう、当日の様子をオンデマンド配信しました。

DAY1

知っておきたい！災害ボランティアのあれこれ

日 時：2023年6月22日(木) 16:30～18:00

参加者：29名（1年生：9名 2年生：2名 3年生：12名 4年生：6名）

NPO法人IMAGINUS

〔特別講師〕 災害ボランティアコーディネート事業部・防災士
向 はるか 氏



セミナー ● 災害ボランティアをイメージしてみよう

● 災害ボランティアに欠かせないチームワークとは

ワーク ● 災害ボランティアに行く際の心得



DAY2

災害復旧から復興へ 学生だからこそできること

日 時：2023年7月6日(木) 16:30～18:00

参加者：29名（1年生：8名 2年生：3名 3年生：12名 4年生：6名）

若者活動サポートセンター あおぞら 代表

〔特別講師〕 地域づくりコーディネーター・防災士
秦野 英子 氏



セミナー ● 復旧⇒復興の転換期におきること

&

● 復興期にできることを考える

ワーク ● 災害は日常のとなりにある



2講座受講した学生には「災害ボランティアリーダー養成講習会修了証」を授与しました。講習会で学んだ事を活かし、非常時に学生ボランティアのリーダーとして活躍する学生の養成を目指し、次年度以降も取り組みます。



参加者の声

「災害は有事の一つで、復旧は平時を取り戻すために行うことという点が印象に残った。」

「防災ボランティアの概要だけでなく、チームワークの大切さを学べた。」

「被害にあった方皆さんが同じ気持ちではないから、その人その人に寄り添うことが大切だということが印象に残った。」

「自分の生活の何%を災害ボランティアに当ててるのかを考えるきっかけになった。学生の本業をおろそかにすることなく、できる範囲で参加してみたい。」

2 | 災害ボランティアリーダーネットワーク

近年各地で勃発する災害に備え、発災時の本学学生による被災地支援体制の強化および災害ボランティアリーダーとしての意識醸成を促すため、2022年度に災害ボランティアリーダーネットワーク『修大災ボラネットワーク』を構築しました。「災害ボランティアリーダー養成講習会」を受講し、修了証を授与された学生のうち希望者のみを登録可能としています。2023年度は新しく12名の学生がネットワークに登録し、現在の登録者は18名となっています。

目的

- (1) 災害支援ボランティアにおいて学生ボランティアリーダーとして率先して行動できる学生の養成。
- (2) 登録学生のモチベーションの維持およびリーダーとしての意識醸成を促す。
- (3) リーダー希望者を把握してフォローアップを継続的に行うことにより、発災時に速やかに学生ボランティアを派遣できる体制を整える。



3 | 修大災ボラネットワーク登録者向け研修会

被災地で災害ボランティアリーダーとして活動するための実践的なトレーニング研修として、「修大災ボラネットワーク登録者向け研修会」を開催しました。5時間に及ぶ講習会のなかで、普段聞くことのできない講師のリアルな体験談や被災現場の実態談に加えて、非常食体験、道具を使ったワークショップを実施するなど、実際に被災地に出向き、被災者と対面する前準備としての実践的な研修会となりました。



日 時：2023年8月3日(木) 10:00～15:00
参加者：6名（1年生：2名 3年生：1名 4年生：3名）
〔特別講師〕 特定非営利活動法人 ひろしまNPOセンター 理事 増田 勇希 氏

セミナー

- 近年の災害と災害ボランティア
- 非常食体験 ● 被災者、被災地への寄り添い方
- ボランティアリーダーとしての行動と心配り

ワーク

- 活動に合わせた道具の選び方、ロープワーク



参加者の声

「実際に道具を触ったり、防災食を食べたり、体験者の声を聞くだけでも災害ということが身近に感じられて意識が変わった。」
「参加者の方がいろんな意見を持っていて、意見交換している時がとても勉強になった。」
「自分は良かれと思って行動していることでも、行動する前に一呼吸おいて、被災された方の話を聞いたリ、やっていいことなのか確認することが大切だと思った。」



4 | ボランティア講習会、地域活動講習会

「ボランティア活動に興味はあるけどなかなか一歩が踏み出せない…」そんな学生へのきっかけづくりとして、地域貢献活動に関する知識と心構えを習得することを目的に、ボランティア講習会と地域活動講習会を開催しました。

ボランティア講習会では、実際にボランティア経験のある先輩学生を登壇者として呼び、ボランティアの体験エピソードを紹介しました。地域活動講習会では、ボランティア講習会の内容に加えて、本センターが支援している「中学生キャンパス見学会」、学生が主体的に地域課題を解決・調査する「地域つながるプロジェクト」についても紹介し、先輩学生のエピソードを聞く場を設けることで、参加学生に様々な選択肢を提供する講習会となりました。

ボランティア講習会

先輩から学ぼう！ボランティアの魅力って？



日 時：2023年4月26日(水) 15:00～16:00

参加者：20名（1年生：10名 2年生：6名 3年生：4名）

〔登壇学生〕

法学部 法律学科 4年 嶋村 栞太

国際コミュニティ学部 国際政治学科 4年 藏下 翼

参加者の声

「どの先輩方もボランティアで得た経験だけでなくそこで出会った仲間との交流が印象にあったようで、想像以上に楽しそうだなと思った。」

「ボランティアは奉仕活動という硬いイメージだったけど、先輩方の話を聞いてみると、とても楽しそうなイベントばかりで参加したくなった。」

「ボランティアに対するハードルが下がった。」



地域活動講習会

踏み出そう！地域活動のはじめの一歩



日 時：2023年11月30日(木) 16:30～18:00

参加者：10名（1年生：5名 2年生：3名 3年生：1名 4年生：1名）

〔登壇学生〕

人文学部 英語英文学科 4年 岸 美里

商学部 商学科 4年 角田 和哉

健康科学部 心理学科 4年 田上 智子

人文学部 英語英文学科 3年 瀬尾 友美奈

参加者の声

「実際にボランティア活動されている方の話を聞いて今後の自分のしたいことの指標に出来た。」

「自分の知らない活動が知れてよかった。先輩の話が聞いてよかった。」

「とりあえず気軽に、特別じゃない1歩を踏み出すことの重要性を感じた。」

「先輩たちの体験談を聞いて、ボランティアは自分が好きな分野に気軽に取り組むことができること分かった。」



ボランティアで身に付いた 自発的に行動する力



年間多くのボランティア活動に参加！

杉原 音羽 スギハラ トワ

学部・学科 法学部 法律学科

学年 1年

私は、大学に入学するまでボランティアの活動経験はありませんでしたが、イベントへ参加することが好きで、運営にも興味があったため、入学後ボランティアに参加するようになりました。元々楽しそうだったことには何でも挑戦するタイプなので、ピア・カウンターから提供される募集情報を見て、直感的に楽しそうだと感じたものに申し込むようにしています。

参加したボランティアの中で特に印象に残ったボランティアは2つあります。

1つ目は、毎年8月6日に原爆ドーム前の元安川で行われる「とうろう流し」のボランティアです。主な活動内容はとうろうを流す際の説明や補助でしたが、私は世界各国の人々が広島を訪れてとうろう流しに参加していることに驚きました。護岸からとうろうを流すために1時間以上の長蛇の列ができていましたが、海外の方々が平和を願いながらとうろうを流している姿に感銘を受けました。多くの方が平和の大切さを感じられる活動にボランティアとして携われたことは私にとって貴重な経験となりました。

2つ目は、様々な課題を抱える少年少女に寄り添い、学

習支援やレクリエーションと一緒に楽しむ青年ボランティアです。月1回程度参加しており、子どもに宿題を教えたり、クリスマス会でケーキを作ったりしています。この活動を通して、子どもたちだけでなく他大学のボランティア学生と仲良くなることができ、私自身も楽しんで活動に参加しています。

様々なボランティアに参加したことで、周りを見て自発的に行動する力が身に付いたと感じています。ボランティアでは指示を大まかにしか伝えられないことが多いため、指示されたことだけではなく、周りを見て自分にできることを探すように意識して行動しています。大学やアルバイトでは特定の大人としか関わりがありませんが、ボランティアではたくさんの大人と出会い、その方の活動に対する想いを聞くことができます。

本学はボランティア窓口のピア・カウンターが設置されていて、ボランティアに参加しやすい環境だと思うので、興味があればぜひピア・カウンターを訪れてください。そして、ボランティアは自分自身にとって成長する場であり、とても良い経験になるので、何かしたいと思っている方にはおすすめの活動です。

災害ボランティアリーダー養成講習会に全日程参加！

山下 桃佳 ヤマシタ モモカ

学部・学科 健康科学部 心理学科

学年 3年



自分や家族の身を守る 防災知識を習得

私はピア・カウンターが主催する「災害ボランティアリーダー養成講習会」と「修大災ボラネットワーク登録者向け研修会」の全3講座に参加しました。平成30年7月豪雨災害で西日本に多くの被害が出たことや近年勃発する災害のニュースを見て、他人事として考えてはいけなかったと感じていました。10年ほど前に実家の裏山が崩れて危険な状態になったこともあり、自分や家族の身を守るために防災についての知識を身に付けたいと思い、講習会と研修会に参加しました。

2日間の講習会では、災害支援の活動経験がある人だからこそ伝えられる話を聞くことができ、とても充実した内容でした。1日目で印象に残ったことは、チームワークの大切さです。災害支援は当日出会った人とチームを組んで活動するため、短い時間で良いチームワークを築く必要があります。危険な場所に行くからこそ初めて会う人ともコミュニケーションをとり、役割分担をして支援活動に臨む必要があることを学びました。2日目は、平時と有事について改めて考える機会となり、いつも当たり前だと思って

いる日常も災害が起きると一瞬で奪われてしまうという恐ろしさを感じました。さらに実践的な内容を学ぶ研修会では、災害支援で実際に使用する道具に触れて、使い方を学んだことが印象的です。スコップが重たいこと、土のう袋の作り方、ロープの結び方など普段知ることができないことを学ぶことができました。また、非常食体験では、お湯を入れるだけで食べられるご飯やパスタ、レトルトのおかず、缶入りパンを食べましたが、予想以上の美味しさに驚きました。私の家では、以前から水の備蓄はしていましたが、万が一に備えて非常食も備えておかなければいけないと思いました。

令和6年能登半島地震が発生し、日本中が危機感を感じている今だからこそ防災について学ぶべきだと思います。私は、防災に興味があってもなかなか学ぶ場がないと思っていたところに講習会のことを知り、参加しました。講習会に参加することで家族と防災について話すきっかけにもなるので、自分や家族の身を守る知識を身に付けるためにぜひ参加してみてください。

学内ピア活動

1 中学生キャンパス見学会（中学生キャンパスガイド）

本センターでは地域貢献事業として、中学生キャンパス見学会を実施しています。中学生のキャリア教育の一環として、大学では何を学ぶのかを大学生との交流や模擬講義を楽しみながら体験することで、将来の進路選択の参考にしようという事業です。

昨年度に引き続き対面とオンラインの選択形式で募集し、対面で8校、オンラインで1校実施しました。

中学生キャンパス見学会では、職員のアシスタントスタッフとして学生も事業に携わっており、彼らを「キャンパスガイド」と呼んでいます。学内施設を案内するキャンパスツアー、中学生からの質問に答える交流会、模擬講義などを通して普段の中学校とは違う大学の空気を感じてもらいながら、将来のキャリアプランを考える一助になるように大学の魅力を案内しています。

参加校一覧 (受付順)

大阪市立今津中学校

三次市立三良坂中学校

大竹市立玖波中学校

三次市立甲奴中学校

広島市立五日市観音中学校

江田島市立江田島中学校

江田島市立三高中学校

尾道学園尾道中学校

三次市立三和中学校



2 学内総合案内所（新入生サポートガイド）

4月上旬に実施される、新入生向けのガイダンス期間中に、新入生に向けた学内総合案内所を設置しています。新入生が大学入学という大きな変化に速やかに適応し、学習や大学生活に安心して取り組めるよう、大学案内や教室移動の誘導、学生生活のアドバイスなどを学生目線で行っています。

日時：2023年4月3日(月)・4日(火)・5日(水)・6日(木)

参加学生数：9名



新入生をサポートした先輩学生の声

「多くの人に挨拶して、雰囲気の良い学校づくりになった。そして一人でも多くの方が学校に慣れていただけるサポートができたと思う。」

「新入生と話すことでコミュニケーション能力がついた。教室まで案内するときはできるだけ分かりやすく説明したり、場所まで一緒に行くよう心がけた。」

「1年生に場所を案内したら、笑顔で『ありがとうございます』と言われ、ボランティアをしてやりがいを感じた。」



Photo Gallery 2023



資料集

1 学外ボランティア活動に関するガイドラインについて

ピア・カウンターでは、学外団体などからボランティア活動への参加募集の依頼があった場合、「学外ボランティア活動に関するガイドライン」に準じて依頼内容を精査しています。ガイドラインの基準を満たし、学内で承認を得た活動のみ情報発信および参加学生の募集・受付を行っています。

学外ボランティア活動に関するガイドライン

広島修道大学ひろしま未来協創センター ピア・カウンターでは、広島修道大学学生が学外で行うピア活動について以下のガイドラインを設けることとする。

※感染症発生状況により変更となる場合がある。

- (1) 対象を団体が主催する活動に限定し、個人が主催する活動は除外すること。
- (2) 主催団体の固定的名称・代表者・連絡先・活動内容が明確であること。
- (3) 学生の活動について、主催団体が保険に加入していること。
- (4) 営利目的ではない活動であること。
- (5) 水泳監視、ベビーシッター、病人介護など、深く人命に関わる活動は除外すること。
- (6) 特定の政治団体や宗教などと結びついていない活動であること。
- (7) 学生への教育的効果が期待できる活動であること。
- (8) 原則として参加費用が無料の活動であること。ただし、上記(1)から(7)の基準を満たす活動で要求される参加費用が実費であればその限りではないこととする。なお、その判断はひろしま未来協創センターで行う。
- (9) 原則として無報酬の活動であること。(交通費、材料費等の活動に必要な経費等の実費支給は無報酬とみなす)
- (10) 基本的な感染症対策を講じた活動であること。

受け入れた学外ピア活動の紹介・掲示について

上述の基準を満たした学外ピア活動について、ピア・カウンターの掲示板やホームページなどを用いて本学学生に紹介する。掲示に際しては、掲示物には活動を主催する学外団体の連絡先を記載しない。このことにより、掲示された活動に本学学生が参加する場合は、必ずピア・カウンターがその学生に対して受け入れ団体、活動内容、保険、準備物などの説明ができ、参加学生の事前・事後のサポートを行うことができる。

学外ピア活動を紹介・掲示する際には、ひろしま未来協創センター内で情報共有し、疑義のないものを掲示板や大学ホームページなどを用いて学生に情報提供する。

2 | 学外ボランティア活動の受付および募集について

ボランティア活動の募集については、依頼者の方にご来室いただき直接募集についてお話をするか、こちらからメールで専用の募集様式をお送りし、必要事項を記入の上、活動情報を送っていただくことにしています。

学外ボランティア活動に関するガイドラインの基準を満たした活動については、活動の詳細をまとめた「ピア・カウンター情報カルテ」を作成し、部局内で3日間の期間を設け内容を確認しています。

【募集様式1 記入例】

お名前 ふりがな (担当者名)	社会福祉法人○×園 しゅうだい たろう 修大 太郎			
ご連絡先	電話番号	012-3456-7890	E-mail	ox@gakuen.jp
活動名	第5回 ○×園まつり			
主催者	主催	社会福祉法人○×園		
	共催	△△市社会福祉協議会		
保険加入	加入保険名	ボランティア行事用保険		
分野	※該当するものすべてにチェックしてください ☐ 教育 ☐ 子ども ☒ 福祉 ☐ 高齢者 ☐ 国際 ☐ 環境 ☒ イベント ☐ スポーツ ☐ 平和 ☐ 災害支援 ☐ 防犯 ☐ まちづくり ☐ その他 ()			
活動目的	おまつりを通じて、地域の方々と知的障がいのある利用者・家族・職員との交流を図り、施設の理解を深める事を目的に毎年開催しています。 地域のボランティアの方にも参加していただき、障がいのある仲間たち、関係者、作業所の職員とさまざまな方が力を合わせて作り上げるイベントです。			
概要	活動日時：2024年10月12日(土)～13日(日) 各日10：00～15：00 ※ボランティア集合時間：9：00、解散時間：16：00 活動場所：社会福祉法人○×園 住 所：広島市安佐南区大塚○○・×× ※ボランティア集合場所：○×園1階 第一会議室 事前研修会： <u>あり</u> ・ なし [ありの場合の日時・場所： 2024年10月5日(土) ○×学園2階 第二会議室にて] 交通費の支給： <u>あり</u> ・ なし [上限等あればご記入ください：実費支給]			
ピアの活動	具体的に学生がどのような活動を行うかご記入ください。 ・来園対応 ・プログラム配布 ・各販売ブース、各コーナーの補助 ・会場整理、利用者さんの対応 など			
ピアの教育的効果	障がい者との関わり方を学び、コミュニケーション力や主体性を育む			
募集期間	2024年10月3日(木)			
活動フォロー ／ 備考	その他特記事項があればご記入ください。(食事の有無、服装、持ち物、雨天時の対応、その他) ・可能な時間帯のみの参加でもOK ・終日参加の方にはお弁当、お茶支給 ・持ち物…室内用靴 ・雨天決行			

広島修道大学 ひろしま未来協創センター ピア・カウンター活動報告書 2023年度

発 行：2024年3月

発行者：広島修道大学 ひろしま未来協創センター ピア・カウンター

〒731-3195 広島県広島市安佐南区大塚東一丁目1-1

TEL：082-830-1409 FAX：082-830-1932

MAIL：peer-c@js.shudo-u.ac.jp

